

全固体電池の拓く世界： 基礎から将来展望まで

Innovation with all-solid-state batteries:
from basics to future prospects

ポスト・リチウムイオン二次電池として注目されている安全性の高い全固体電池にターゲットに絞り、その基礎から将来展望までをわかりやすく概観することができるシンポジウムとして企画しました。材料、デバイス作製、分析・評価、理論・計算のそれぞれの最前線で研究を進める研究者に招待講演をお願いするとともに、最新の研究成果を一般講演で募りシンポジウムを構成します。全固体電池に関する技術の最新動向や課題、あるいはビジネスチャンスを理解し、研究を推進し関連分野の振興を図ることを目的とします。

日時：2020年9月9日(水) 13:30～18:00 [予定]

会場：オンライン開催予定

(現地開催の場合：同志社大学・今出川校地)

一般講演
数件募集

招待講演 (敬称略・五十音順, 仮題)

射場英紀 (トヨタ自動車)

100年に一度の大変革を先導する全固体電池(2)

林晃敏 (大阪府立大学)

無機アモルファス材料を用いた全固体電池の構築

高田和典 (NIMS)

固体電池に現れる界面イオン伝導の特異性

白木将 (日本工大)

理想的なモデル薄膜電極を活用した全固体電池の界面研究

今井英人 (日産アーク)

全固体電池解析手法の進展：界面の構造、電子輸送、イオン輸送およびプロセス

大野隆央 (NIMS)

全固体電池材料の界面特性： 計算科学からの探索 (仮題)

世話人：吉越章隆 (原子力機構) 近藤大雄 (富士通研) 小川修一 (東北大)

福田めぐみ (日本工大) 住友弘二 (兵庫県大)

問合せ先：yoshigoe@spring8.or.jp